

連携中枢都市圏連携事業（案）

資料 5

鳥：鳥取市 岩：岩美町 若：若桜町 智：智頭町 八：八頭町 新：新温泉町

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
ア 圏域全体の 経済成長の けん引 (31事業)	1	ビジネスサポート体制事業	圏域全体の起業支援、産業育成のためのビジネスサポート体制の検討を進める。	事業承継を意識してやっている。指標のビジネス課題実例研究数とは何か。	サポート体制について、今後どのような課題について研究していくかというもの。	○		●	●	●	●	●	●	ビジネス課題事例研究数(件)	4	4
	2	起業・創業支援	民間の創業支援事業者(地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等)と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業等の創業支援を実施			○		●	●	●	●	●	●	創業者数(人)	114	113
	3	圏域内の事業者に向けたセミナーの開催	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランスなど様々なテーマで経営改善等につながるセミナーを開催(事業者の対象を市域から拡大)			○		●	●	●	●	●	●	セミナー参加者数(人)	100	110
	4	地域商社	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・産品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源の域外へ販路開拓・拡大を目的とした商社事業を展開			○		●	●	●	●	●	●	取引業者数(社)	10	18
	5	関西事務所運営事業	関西事務所に職員を配置し、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域などにおいて、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	関西事務所に人材を配置し企業訪問するならば、若桜、智頭、新温泉町も入るよう整理を求める。	意見を参考に検討する。		○	●	●		●		企業訪問件数(件)	80	90	
	6	広域的道路網の整備促進のための各種事業	関係市町村と連携し、圏域内の山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道及び山陰自動車道の4車線化等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の啓発事業や環境整備を積極的に実施。				○	●	●	●	●	●	●	要望活動数(回)	4	4
	7	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。				○	●	●	●	●	●	●	圏域の間伐面積(ha)	1,416	1,509
	8	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。				○	●	●	●	●	●	●	林業労働者雇用条件改善事業実施者数(各年毎健康保険・農林年金への補助者数)(人)	43	40
	9	放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。				○	●	●	●	●	●	●	放流数(トン)	6	6
	10	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。				○	●	●			●		研修実施者数(各年毎)(人)	52	52

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I				
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標	
ア 圏域全体の 経済成長の けん引 (31事業)	11	特産品生産促進支援事業	白ネギの特産化を図るため、東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。				○	●	●	●	●	●	●	●	白ネギの作付面積 (ha)	60	60
	12	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路の維持、強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。				○	●	●	●	●	●	●	●	関西圏での合同直販市の開催 (回)	1	2
	13	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏等から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決と後継者確保対策を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。				○	●	●	●	●	●	●	●	地域おこし協力隊配置数 (人)	43	41
	14	農業担い手育成塾	鳥取・但馬圏域内の新規就農者および、関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・みらい農業ねっとわーく」を創設し、以下の事業を実施する。 ・情報共有(携帯メール配信等) ・研修・情報交換会の開催(座学研修、圃場研修、事例発表等)	担い手支援の育成・人材確保の受け入れをお願いしたい。	どの業種も人材不足。人材育成確保進めている所である。他業種との横連携も今後検討したい。		○	●	●	●	●	●	●	●	登録会員数 (人)	0	48
	15	農業のIT化の促進	鳥取・但馬圏内の自治体および、農商工関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・スマート農業推進会議」を創設し、以下の事業を実施する。 ・情報収集・発信(メール配信等) ・研修・情報交換会の開催(座学・圃場研修、事例研究等)				○	●	●	●	●	●	●	●	研修会延べ参加者数 (人)	0	100
	16	麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力を情報発信、普及啓発し、圏域の活性化につなげるとともに、保存会等とも連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保存・継承を図る。 ◆麒麟のまち連携コンセプト等について域内住民への浸透を図る ◆博物館や展示施設での麒麟獅子関係巡回展の実施 ◆麒麟獅子舞を生かした日本遺産の認定を目指す				○	●	●	●	●	●	●	●	1市5町観光入込客数	4,708,000 (H27)	5,325,000
	17	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。また、マスコミ・メディアの本社が集中する首都圏において、各種情報の発信を行い、圏域の認知度アップ、イメージアップを図る。				○	●	●	●	●	●	●	●	圏域への観光入込客数 (人)	4,708,000 (H27)	5,325,000
	18	インターネットショップ事業	市内の物産のイメージアップやブランド化のため本市が運営するインターネットショップ「とっとり市(いち)」への出店を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった物産の振興を図る。				○	●	●	●	●	●	●	●	出店店舗数 (店)	81	99
	19	駅前太平線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント(行政系)等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加をはかる。				○	●	●	●	●	●	●	●	利用回数 (回)	0	2
20	鳥取・因幡観光ネットワーク協議会支援事業	鳥取・因幡観光ネットワーク協議会が行う鳥取・因幡圏域の観光素材の開発・普及及び県内外への観光広報宣伝活動の実施を支援する。 ※鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町のDMO設立による拡充				○	●	●	●	●	●	●	●	圏域への観光入込客数 (人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
ア 圏域全体の 経済成長の けん引 (31事業)	21	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会支援事業	各市町が連携し、国道29号周辺地域の活性化のための情報発信やイベントの開催、沿線整備を行う。※日本風景街道新因幡ライン事業の実施に伴う拡充				○	●	●	●			圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	
	22	因幡・但馬・丹後観光協議会支援事業	鳥取因幡地域、兵庫県但馬地域、京都府丹後地域の観光宣伝活動を推進するとともに、観光客の受け入れ態勢の整備を行うための研修会、観光マップの作成などを実施する。				○	●	●		●		圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	
	23	鳥取自動車道活性化協議会支援事業	鳥取自動車道活性化協議会が行う因幡連携事業やフォトコンテストなどのPR事業を支援する。				○	●	●	●	●		圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	
	24	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の受入れ促進を図る。 ※現在1市4町を中心に案内を実施している外国人観光客サポートセンターを1市5町に拡充(各地域の情報提供が必要となる)				○	●	●	●	●	●	国際観光客サポートセンターの利用者数(人)	10,000	10,500	
	25	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。 ※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充				○	●	●	●	●	●	圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	
	26	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するボンネットバスの運行の支援を行う。				○	●	●				圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	
	27	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	フォーラム、研修会等の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。※山陰海岸ジオパークを活用した事業広域周遊観光の推進、インバウンドの促進	兵庫県もジオパークだけではなく観光など連携していく。	意見として伺う。		○	●	●		●		圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000	
	28	観光大学	現在鳥取市で実施している観光マイスター育成制度を圏域内へ拡充し、圏域内のホスピタリティー向上を目指す				○		●	●	●	●	●	観光マイスター新規認定者数(人)	40	40
	29	砂のルネッサンス連携事業	国内砂像選手権等、砂像に関する事業において1市6町と共催し、連携事業実施、PR				○		●	●	●	●	●	圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000
	30	若者の地元定着促進事業	高校生を対象にした企業見学会を実施する(対象とする高校生を市内の高校から岩美、八頭、智頭、浜坂に拡大)	若桜町が抜けているのでは。	意見を参考に検討する。		○		●	●	●	●	●	企業見学会参加人数(人)	790	800
31	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。				○		●	●	●	●	●	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数(件)	141	146	

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
イ 高次の都市機能の集積・強化 (10事業)	32	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力	鳥取市立病院の初期及び後期研修医師が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。				○	●	●	●			継続して実施する。	継続	継続	
	33	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の間で、不足する診療科医師を派遣する。				○	●		●			派遣を継続する。	継続	継続	
	34	鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携	鳥取市立病院及び公立浜坂病院の情報共有や相補的な相互連携を行う。				○	●				●	継続して実施する。	継続	継続	
	35	鳥取市夜間・休日急患診療所運営委託事業	夜間・休日の1次救急医療体制（内科・小児科）を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。				○	●	●	●	●	●	急患診療所の開所	年間を通して開所	継続	
	36	病院群輪番制運営費補助事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。				○	●	●	●	●	●	病院群輪番制の実施	すべての日曜日及び第2土曜日に実施	継続	
	37	ドクターカーの導入	消防署の要請を受けて医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応するため、鳥取市立病院におけるドクターカーの配備について協議・研究する。	ドクターカーの実現も求める。	ドクターカーは引き続き、協議研究する。		○		●	●	●	●	●	研究する	研究	研究
	38	広域バス路線等運行支援事業	圏域内における広域的なバス路線、また主要なバス路線や鉄道等と連携して運行する地域交通バスに対する支援を行う。（※中山間地域路線維持支援事業を当事業へ追加⇒（内容）若桜鉄道と路線バスとの接続の利便性を向上させるため、町営バスの運行委託等を行う。）	連携中枢都市圏を形成するには交通ネットワーク整備が重要。バックアップをしていただきながら充実に努めたい。引き続き関係事業者、市町、国と連携しながら利用促進を図る。	意見として伺う。		○	●	●	●	●	●	路線バス利用者数（人/年）	2,474,000	減少抑制年5%以内	
	39	公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用検討	鉄道・バスなどの公共交通すべてで使用可能なカードの発行・運用について、連携して研究を行う。※各事業者との調整などから継続検討とする（交通系ICカードも同様）※併せて費用対効果、住民ニーズの把握も行う。				○		●	●	●	●	●	研究・検討会議の実施（回）	2	2
	40	山陰新幹線の整備促進のための要請活動等	関係市町村と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施。				○		●	●	●	●	●	国等への要請活動回数+シンポジウム等開催回数（回）	2	2
41	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携	圏域の活性化に向けて活動する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。				○	●	●	●	●	●	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と構成市町との連携事業数	2事業（1市1町）（H27）	全市町で1事業以上実施（H31）		

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (49事業)	42	看護・医療系人材の育成・確保	各自治体病院における看護職員実習指導者の養成に努めるとともに、看護職員実習指導者の養成のための必要な支援を行う。	KPIについて、実績値よりも目標値が下がっているが見込めないということか。	現実的な見込値としている。看護指導実習事業として必要な人数の確保数としている。		○	●	●	●			看護職員実習指導者養成講習会の受講者数(人/年)	19	12	
	43	医療への関わり方の圏域住民への周知	様々な機会を通じ、地域の医療体制や医療の関わり方(健診受診、適正受診等)、地域包括ケアシステムによる住み慣れた地域での生活など、変化しつつある医療・介護の現状や将来を圏域住民に周知する。				○	●	●	●	●	●	継続して実施する。	継続	継続	
	44	病児・病後児保育	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内での相互利用が可能となるよう広域化を図る。				○	●	●	●	●	●	継続して実施する。	継続	継続	
	45	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児(者)の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児(者)の口腔健康の維持・向上を図る。				○	●	●	●	●	●	継続して実施する。	継続	継続	
	46	生活圏域での在宅医療・介護連携(地域包括ケアシステム)の推進	圏域内における病院とかかりつけ医、訪問看護、介護事業者などの市町村の枠組みを超えた圏域での連携の検討、住民への周知等を行う。					○	●	●	●	●	●	在宅医療・介護連携推進事業の実施(実施事業数)	8事業のうち5事業を実施中	全8事業を実施
	47	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業(法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等)について、定住自立圏域の住民に対象を広げて相談を受け付ける。					○	●	●	●	●	●	社会福祉協議会各種相談件数(件)	144	110
	48	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。					○	●	●	●	●	●	手話奉仕員養成研修受講者数(人)	34	34
	49	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。					○	●	●	●	●	●	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内(回)	2	3
	50	点訳朗読奉仕員養成研修事業(日本赤十字社鳥取県支部委託)	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	マイノリティーの人へ支援・理解の講座の連携。手話通訳者の養成。仕事として参加できる取組を求める。	御意見として伺う。更なる理解を深めることとする。			○	●	●	●	●	●	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数(人)	5	5
	51	地域活動支援事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。 サマーハウスが、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。					○	●	●	●	●	●	年間延べ参加者数(人)	6,500	6,500
52	博物館施設等活用連携事業	小中学校児童生徒の圏域内学習に寄与するため、圏域内博物館施設を学校教育や子どもたちの体験学習へ活用する					○	●	●	●	●	●	博物館施設等活用連携事業実施回数(回)	0	3	
53	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を通覧できるようにする。					○	●	●	●	●	●	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数(件)	3,000	3,000	

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (49事業)	54	森のようちえん事業	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の体と心の育成に取り組む。				○	●			●			森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数(人)	0	120
	55	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げることで、スポーツを通じて地域間の交流を図る。 鳥取市：マスターズ駅伝(バードスタジアム活用)、新温泉町：新温泉町スポーツレクリエーション記録会			○		●	●	●	●	●	●	参加者数(人)	159	180
	56	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員(英語圏・ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人)が市民向けに行っている国際理解講座(料理教室、文化の紹介、語学等の講座)を5町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。			○		●	●	●	●	●	●	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数(回)	87	95
	57	公共図書館の相互利用事業	利用の対象を圏域内に居住、通勤、通学している人とし、各図書館で申請を受け付け貸出カード発行し、図書館資料の貸出利用を可能にする。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。(ただし、利用者が各館に出向き貸出・返却を行う。マイナンバーカードの活用を行えば、カードはマイナンバーカード1枚でよいが、その検討は引き続き行うこととする。マイナンバーカード活用にはばられるものではない。)			○		●	●	●	●	●	●	在住外登録者の利用冊数(総人口100人当たり)(冊)	8.7	9.3
	58	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を行い、広域的な駆除体制を構築するとともに捕獲技術の向上を目指す。	サクにより景観が損なわれている。63番と一体でないので配慮がほしい。	事業としてはそれぞれの目的が違うが、そういう視点で検討し、できる限り配慮する。		○	●	●	●	●	●	●	年間被害面積(a)	3,361	3,361
	59	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃猟者を育成・確保する。				○	●	●	●	●	●		鳥取クレ射撃場利用者数(人)	420	450
	60	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。				○	●	●	●	●	●		いなばのジビエ推進協議会推進啓発イベント入場者数(人)	20,000	21,000
	61	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会支援事業	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会が設立され、今後東部圏域が一丸となって県内外への情報発信(ホームページの開設など)を行うとともに、先進地視察、研修会、モニター体験ツアーなどを実践し、スケールメリットを活かした取組を行う。				○	●	●	●		●		とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会加盟団体数(団体)	27	29
	62	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体で構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。				○	●					●	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数(人)(宿泊を伴うもののみ)	1,485(H27)	1,780
63	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町として癒しの里づくりを進める。	58番鳥獣対策のサクにより景観が損なわれている。一体でないので配慮がほしい。	事業としてはそれぞれの目的が違うが、そういう視点で検討し、できる限り配慮する。		○	●				●		森林セラピー導入企業数(社)	0	16	

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (49事業)	64	とっとりふるさと元気塾開設事業	とっとりふるさと元気塾を開設し、地域や集落の活性化を目指して実践的な活動を主体的に取り組んで行くことのできる実践者・リーダーの養成を推進する。(元気塾の開催については、希望される圏域の地域で実施をおこなう。)				○	●	●	●	●	●	●	とっとりふるさと元気塾リーダー認定者数(人)	37 (H28)	30
	65	コリドー21因但県境自治体会議	因幡と但馬の県境地域に接するそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。				○	●	●	●	●	●	●	サミット開催数(回)	1	1
	66	地域づくり活動発表会開催	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取り組み状況の発表や意見交換の場所を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図るとともに、併せて地域相互間の往来を促す取り組みを行うことで、地域周遊のラインの形成を図る。				○	●	●	●	●	●	●	参加団体数(回)	0	10
	67	I C T 関係機器・データ等の共同調達事業	関係市町村と連携し、共同で I C T 関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。 ※30年度においては、関係市町村と連携し、共同で航空写真撮影について、実施時期を含め検討。撮影データについては、GISや固定資産税業務等で各市町で活用。※共同調達の対象は鳥取県 I C T 協議会等での調達対象外などを対象とする。				○	●	●	●	●	●	●	共同調達案件数(回)	0	1
	68	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。 【平成30年度の主な取り組み】 ●自主防災組織等を対象とした圏域内合同防災研修会の開催(共助連携) ●防災備品・備蓄品の情報連携(公助連携) ※)31年度以降の連携内容については、ミサイル等武力攻撃事態に関するオリジナル広報等の製作や防災マップ等の情報連携発信等を予定している。				○	●	●	●	●	●	●	防災情報連携事業数(事業)	0	2
	69	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して行っていく。また、生ごみ処理機の購入促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、家庭から排出されるごみの減量化を図る。				○	●	●	●	●	●	●	可燃ごみの処理量(t)	62,612	60,906
	70	ゆめぐりエクスプレスバス運行事業	鳥取市と兵庫県新温泉町の間を結ぶ定期バスの運行を支援し、生活交通の確保及び観光客の利便性向上を図る。	・KPIについて、実績値よりも目標値が下がっているが見込めないということか。 ・県境を越える場合支援が難しい。バックアップをお願いする。 ・こたつバス、婚活デマンドバス、ハンドサイン交流バスなど複合的な組み合わせを出してほしい。	・H28年度3.5往復→2往復となり減便となり下がっている。現状維持プラスαで挙げている。 ・意見として伺う。 ・政策間連携も必要な観点である。複合的な組み合わせ等、いろんな観点で検討する。		○	●	●				●	平均乗車人員(人/便)	2.52	2.05
	71	JR山陰本線の利用促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るとともに、沿線地域の活性化を図る。	兵庫県も山陰本線の利用促進など連携していく。	意見として伺う。		○	●	●				●	山陰本線(久谷～青谷間)の乗客数(千人/年)	3,856	3,860

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町						K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)		基準	目標
圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (49事業)	72	智頭線・因美線利用促進事業	智頭線や因美線の利便性向上や利用促進等の事業を行い、沿線地域の活性化を図る。				○	●			●	●			因美線（鳥取～那岐）、智頭線（智頭～山形）の乗客数（千人/年）	3,345 (H27)	3,350
	73	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利便性向上や利用促進を行う。				○	●	●	●	●	●	●		東京便の搭乗者数（人）	350,000	380,000
	74	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利便性向上や利用促進のため様々な取組を行う。 ①若桜鉄道利用促進 若桜鉄道利用促進実行委員会が行うシルバー回数券への助成、ミニ時刻表の作成等の若桜鉄道の利用促進事業や観光ツアーの誘致等の観光振興事業に対して支援を行う。 ②若桜鉄道観光列車運行事業 観光列車「昭和」の整備と、周辺市町と連携したツアー商品の造成やグッズ開発、観光施設等のPRを行う。				○	●		●		●		若桜鉄道の乗客数（人）	325,000	410,000	
	75	麒麟のまちを巡る交通網の整備	ゆめぐりエクスプレスバスなど圏域を移動できる交通機関の整備充実と高規格道路開通を見据えた高速バスの運行の検討 ※各事業者との調整、ニーズ把握などを踏まえ事業化を研究。	高速バス等、交通機関の支援を期待している。	強化して取り組む。高速バスは引き続き、協議研究する。	○		●	●	●	●	●	●	検討会議数（回）	2	2	
	76	JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上事業	JR鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の広域交通結節点と位置づけ、施設整備及び機能強化・充実	基準・目標ゼロの意味は。	現在検討中である。	○		●	●	●	●	●	●		機能強化・充実件数（回）	0	0
	77	ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	各自治体がコミュニティ番組やデータ放送ならびにWebコンテンツ等として保有する、観光・イベントを中心とした地域に密着した情報を圏域内の既存のICTインフラを活用した交流を促進することにより地域活性化を図る。				○	●	●	●	●	●	●		各市町HPの相互リンク	全市町	継続実施
	78	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取県主催の武蔵野市の家族受け入れ（自然体験交流）事業に参画し、地域の特色ある資源を活用した都市との交流事業を実施する。				○	●	●	●		●			受入人数（人）	0	85
	79	婚活支援事業の連携⇒若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の单身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行う（コリドー21で実施している婚活事業も含め実施）とともに、若者が集う場の創出を図る。	・婚活事業は大切。それ以前に「若者が集う場所の創出」をお願いしたい。 ・単独市町では同じ人になる。圏域になり視野が広がり期待している。	・「若者が集う場所の創出」については可能かどうか持ち帰り検討する。 ・意見として伺う。		○	●	●	●	●	●	●	定住自立圏域目標人口（人）	247,429 (H27)	245,603	
	80	おためし住宅利用者へのパスポート発行	圏域のお試し住宅利用者に対し、圏域の施設等で割引サービスなどを受けれるパスポートを発行する。				○		●	●	●	●	●		圏域外からのお試し住宅利用件数（件）	135	141
	81	圏域全体の空家登録バンクの整備・運用	圏域全体の「空家登録バンク」を整備し、圏域で一体的に移住・定住の促進を図る				○		●	●	●	●	●		圏域外からの移住者の内、登録物件へ入居した件数（件）	26	29
82	麒麟のまち移住相談会	都市部で開催される移住相談会への共同参加や、関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」などを活用した相談会を共同開催する。	人口の流出の防止、若者定住、Iターン、Uターンの促進を整える必要がある。	人口流出は1市5町の課題。総合戦略を策定し事業に取り組んでいる。連携し人口増加を図りたい。		○		●	●	●	●	●		各市町への移住者数（人）	368	569	

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I			
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標
圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (49事業)	83	移住体験ツアー事業	圏域への移住定住の促進を目的に、圏域を巡る移住体験ツアーを開催する。	現在も各市町で実施している事業があるがどう整理するのか。	広域的に広げて効果を得るため掲載。	○		●	●	●	●	●	●	各市町への移住者数(人)	368	569
	84	移住者への特産品プレゼント事業	圏域で取り組む移住相談会などに参加され、その後圏域に移住された方に対し、1市5町の特産品をプレゼントすることで移住を促すとともに、特産品のPR・一次産業の活性化を図る。			○		●	●	●	●	●	●	圏域のお試し住宅利用後に移住した世帯数(世帯)	82	87
	85	広報誌リレー記事	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載			○		●	●	●	●	●	●	掲載回数(回)	2	2
	86	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のCM作成等の、エリアプロモーション事業をおこない、圏域ブランド周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進つなげる。			○		●	●	●	●	●	●	圏域への観光入込客数(人)	4,708,000 (H27)	5,325,000
	87	合同職員研修	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。				○	●	●	●	●	●	●	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合(%)	23	24
	88	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取り組みを学ぶ機会(勉強会等)を設ける等の人事交流の実施を検討する。			○		●	●	●	●	●	●	検討会議の開催(回)	0	1
	89	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置	・麒麟のまち圏域全体を活動範囲とした「地域おこし協力隊」の設置。 ・各市町の地域おこし協力隊員とのネットワークを構築し、各市町の抱える諸問題に対応しつつ、圏域全体の活性化の取り組みなどの強化を図る。(H30年度:導入検討、H31~1名導入)	基準・目標ゼロの意味は。	来年度検討してH31年度以降から配置するかどうか検討する。	○		●	●	●	●	●	●	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数(回)	0	0
90	公共施設点検研修の共同実施事業	本市で実施している施設管理担当者対象の施設点検研修に、連携町職員の受入れ、又は本市職員を派遣する。			○		●	●	●	●	●	●	公共施設点検研修の実施回数(回)	2	2	
						38	52	90	82	74	76	77	72			

※記載のない重要業績評価指標(K P I)の基準値はH28年度の実績値、目標値はH30年度とする。

連携する取組	No.	事業名	事業概要	ビジョン懇談会		新規	定住	連携市町					K P I				
				意見・要望等	回答・方針			鳥	岩	若	智	八	新	指標(単位)	基準	目標	
			その他の意見	道路が整備され鳥取に行くのが早くなった。病人が鳥取にお世話になっている現状。ありがたい。	意見として伺う。												
			その他の意見	目標値H30年度とあるが、定住自立圏はH31年度までである。H30年度だけのビジョンなのか。	掲載はそうだが、5年間の計画となる。今後H34年度までの計画をお示しする。定住自立圏は、連携中枢都市圏に移行したら廃止となる。												
			その他の意見	各市町との連携で新規としての財源は連携中枢都市で全て賄うのか。	普通交付税は、圏域の発展のために使われるもの。今後、ビジョンの中で事業費を示す。												
			その他の意見	現在、1市4町で行っている高齢者運動会を掲載してはどうか。	現在、実施している高齢者運動会は鳥取県の社会福祉協議会が主催しており、各市町は人的支援等を行っている状況である。												
			その他の意見	住民に「よかった」と思ってもらえる目に見える取り組みを作ることが大切。また発信することが大切。	連携事業案の段階でパブリックコメントを実施する。12/1シンポジウムを開催し周知を図る。												
			その他の意見	連携中枢都市圏ビジョンの一案で本文は次回とするのか。	次回提案とする。												
			その他の意見	安心安全で進むことを願う。	意見として伺う。												